

Passion *for The Glocal*

きみの情熱が、次代を築く

01

Passion

Introduction

私たちは国や地域の未来を見据え、
豊かで住み良い社会づくりに貢献する、
建設コンサルタントです。

たとえば道路や橋がつながれば、人やモノの交流が活発になって地域が潤い、
護岸整備や耐震強化が進めば、たくさんの命と暮らしが守られます。
こうしたさまざまな公共インフラの実現を、高い技術力でサポートすることが、
私たちエイト日本技術開発の使命であり、誇りです。

防災・保全

Disaster Prevention

Our 3 Core Competences

行政支援

Administrative
Support

環境

Environment

What's Consultant Business?

建設コンサルタントとは、
国や地方自治体が進める公共インフラ事業を、
高度な専門知識や技術力を駆使してサポートする仕事です。

Business Model [ビジネスモデル]

行政（国、地方自治体）

事業の決定・予算化と執行

インフラ事業は官民の連携で進められます。基本的な構想は「官」である行政が描き、それをカタチにする設計や施工のプロセスを、技術やノウハウを持った民間に依頼します。

調査・設計等の
依頼

成果物の納品

施工管理

工事の依頼

建設コンサルタント

調査・測量・計画・設計・施工管理

計画の策定から調査、測量、設計に至るまで、事業の実現に向けた一連の業務を担い、成果物（計画書や設計図）を納めます。さらに事業がスタートした後の施工管理や、完成後の維持管理も行います。

ゼネコン・メーカー

工事の施工

行政からの依頼を受け、計画書や設計図に基づいて工事を行います。

Business flow [事業の進め方]



“設計・施工の分離”原則に基づいて役割を分担。インフラを“つくる”ゼネコン・メーカーに対して、建設コンサルタントは“考える”のがメインで、川上から川下までほぼ全ての工程にかかわります。

Passion 02

Our Bussiness

計画、調査、設計からマネジメントまで、幅広いステージで活躍。

一口にインフラ事業と言っても、その内容はさまざま。
私たちは多くの分野で事業を展開しています。



道路・交通分野

人や地域を結ぶネットワーク構築に

道路、橋梁、トンネルの企画から計画・設計、施工管理、維持管理までを担い、便利で快適な国土の基盤づくりに貢献しています。

河川・港湾分野

水と共存した安全な暮らしに

四方を海に囲まれ川も豊富な日本。その恵みを受受けるよう河川、砂防、港湾の設計や整備などを通して、水災害から暮らしを守っています。

都市・環境・建築分野

人と地域に寄り添ったまちに

再開発や区画整理の計画・設計を通して、歴史・文化を受け継ぎ、環境と調和し、生き生きと暮らせるまちづくりに貢献しています。



地質・地盤分野

万が一の災害リスクを最小限に

高度な解析技術を駆使して地すべりや液状化のメカニズムを解明し、災害を未然に防ぐためのソリューションを提供しています。

We Create Comfortable Life.



維持管理・保全分野

インフラを末永く安全・安心に

高度成長期に作られた橋やトンネル、ダムを引き続き安心に使えるよう、メンテナンスや長寿命化のソリューションを提供しています。

耐震・防災・情報分野

自然災害に強い国土づくりに

地震災害、水害、土砂災害のメカニズムの解析から対策の策定、インフラの耐震化に至るまで、業界トップクラスの技術力で対応しています。

資源循環・エネルギー分野

衛生的な循環型社会の実現に

廃棄物に関する幅広い知識や経験、専門技術を駆使して、清掃工場やリサイクル施設の計画や、運営のアドバイザーを行っています。



測量・補償分野

プロジェクトの着実な実施に

インフラ整備の第一歩として、地形の計測から用地アセスメントに至る事前調査を行い、計画のスムーズな進行を後押ししています。

マネジメント分野

行政と民間の橋渡しに

公共施設のマネジメントやPPP事業のサポートなど、構想段階から運営までのライフサイクルを通して、最適なサービスを提供しています。

国際分野

国際社会の発展や平和の実現に

日本国内で培った高度な技術や知見をグローバルに展開。アジアやアフリカを中心に、世界各地で開発援助プロジェクトに参画しています。

Passion 03

Middle Member

1枚の図面に織り込まれた技術者の知恵、経験を積むほどやりがいの出る仕事です。

橋梁の新設設計、耐震補強設計を行う。

資格取得など、技術者としてさらに上へのステップアップを目指す。

PROFILE

加地 大輔

2015年入社
橋梁事業部 保全部
前橋工科大学
社会環境工学科 卒業



Hope for the Future

インターンシップで設計の現場を経験しました。そこで1枚の図面が実際の橋やトンネルの形になっていく様子を見て、凄いなあと感激しました。

土木は「経験工学」といわれることもあり、経験を積んで感覚を磨かなければいけないことがたくさんあります。1枚の図面にも、経験に裏打ちされた多くの知恵が織り込まれています。ベテランの先輩社員は、どんな重機を使ってどんな工法や手順で工事を進めるかなど、工程のはるか先までを見据えて図面を引きます。自分があれこれ複雑に悩んでいる問題も“それはこういうことじゃないかな”とズバリ一言で本質を言い当ててくれる先輩もいて、ハッとさせられることも少なく

ありません。当社には、高度な専門知識を持った技術者どうしが部署をまたいで相談できる、風通しの良さがあります。自分もいろいろと指導してもらいながら、先輩の背中を追いかける毎日です。

こんなこともありました。それは高齢化が進む小さな町の橋を架け替えるプロジェクトでした。新しい橋が完成するまでの間、200mの迂回路を提案しました。すると発注先のお客さまから“お年寄りを200mも歩かせるつもりか”と、指摘を受けました。それまでは“自分の仕事の使命は、インフラの設計を通して人々の生活を支えることだ”と、頭ではわかったつもりで

でもこの時は、橋を利用する皆さまのことを何も考えず傲慢な設計をしてしまったと、本当に落ち込みました。しかし同時に、初心にかえて仕事の意味を見つめ直す良い機会になりました。

現在は「技術士」の資格取得を目指して勉強しています。この資格を取ると一人前の技術者として認められ、任される裁量も大きくなります。必ず合格して大きく成長して、もっとたくさんの人々の役に立てる技術者になりたいですね。

ON OFF

オフの日は何してますか？

散歩をしながらお気に入りの場所を探しています

名古屋から東京に異動になったばかりなので、近所を中心に散策しています。まだ知らない場所ばかりなので少しずつ行動範囲を広げて、お気に入りの場所を見つけたいですね。歩くことは、良い気分転換にもなります。



Passion 04

Middle Member

責任の重さと、やりがいの大きさ、 自分の成長を日々感じています。

インフラの耐震設計に関連する、解析業務を行う。

次々に新しいチャンスを与える職場環境で、自分自身の成長を日々実感。

PROFILE

眞野 基大

2007年入社
防災保全部 地盤技術グループ
愛媛大学大学院 理工学研究科
環境建設工学専攻 修了



Challenging & Rewarding



大学院で地震工学を研究していました。そこでお世話になった先生に“耐震・防災に強い会社”として、エイト日本技術開発を紹介されたのが入社のも動機です。

現在の主な担当は耐震解析。橋、トンネル、上下水、堤防、盛土など、さまざまな既設構造物が地震でどのような被害を受けるのか、それをどのように補強すべきなのか、を考える仕事です。解析自体は学生時代にも行いましたが、現在は一つひとつの数値の重みの違いを日々感じています。自分が出した解析結果が耐震補強の方針を決めるわけですから、責任は重大。設計が始まってから“解析が間違っていました”では許されません。“自分の

やったことを常に疑え”をモットーに上司の協力も得て、入念なチェックを怠らないようにしています。自然現象が相手ですから一筋縄では行きませんが“何故こうなるのか”を自分の手で解明していくのは、何ものにも代えがたいやりがいがあります。さらに地震が起きた現場に行き、自分の目で何が起きているのかを実際に確認したり、国交省や学識経験者による耐震対策関係の委員会に参画して見聞を広められたり、いろいろなチャンスを与える上司の存在もありがたいです。

大きな転機になったのが、入社5年目で「技術士」の資格を取ったこと。この肩書きが名刺に入ると一人前の技術者と認められたことになり、お客さまの

見る目もガラリと変わるんです。期待を裏切らないよう、より一層のスキルアップに励むようになりました。最近は業界団体である「建設コンサルタンツ協会」に顔を出して、同業他社で働く同世代の技術者と交流もしています。働き方について意見を交わしたり、市場の

将来を語り合ったり、会社の垣根を超えて業界を盛り上げようと前向きに考える仲間ばかりで、良い刺激になります。これからも自分自身が成長して、その成果を命や暮らしを守るインフラづくりに還元していきたいと思っています。

ON OFF

オフの日は何してですか？

近所などに出かけて 子どもと楽しく遊んでいます

子ども2人を連れて公園に行くことが多いです。子供たちはとてもエネルギーで、駆けっこや鬼ごっこなど基本的に“走る”遊びをしています。時折ベンチなどで休憩し、雑談もしつつ楽しく過ごしています。



Passion 05

Senior Member

社会に必要とされる充足感があって、女性もイキイキ活躍できる仕事です。

廃棄物コンサルタントの技術とノウハウを深め、全国から頼りにされる存在に。
管理職として、次を担う世代の育成にも取り組む。

PROFILE

小椋 さやか

1996年入社
都市環境・資源・マネジメント事業部
都市・マネジメントグループ
北海道大学 工学部
衛生工学科 卒業



Grateful Everyday

環境問題に興味があり、大学で勉強した廃棄物の知識を活かせるということで、エイト日本技術開発を選びました。そして入社から一貫して、廃棄物コンサルタントとして仕事を続けています。自治体が計画する清掃工場や最終処分場について、事前調査・計画から、設計、施工監理、さらには施設が完成した後の運営管理のモニタリングに至るまでの幅広い業務を一通り経験してきました。廃棄物関係の施設は周辺住民の皆さまに敬遠されがちですが、生活する上では必要不可欠な存在。誠意を持って説明し、データなどの根拠もしっかりと示しながら着実に進めるのが基本中の基本です。

現在は主に、PPP(※)業務を担当しています。近年は自治体が施設の整備や運営を一括して民間に発注するケースが増えており、その事業者選びや事業スキームづくりをお手伝いするという仕事です。廃棄物関係の施設を作る計画は頻繁にあるものではないので、各地の自治体では経験した職員数は限られています。そんな中で多くのノウハウを蓄積してきたコンサルタントは、とても頼りにされています。多い時には月の半分が出張になることもあり、北海道から沖縄まで全国を飛び回っています。

管理職となった現在は、後輩社員の育成も大切な仕事です。入社したばかりの頃、上司に“今の説明はとても

良かったね”と言われたことがとても嬉しかったのを覚えています。私も後輩の良い部分は褒めて、どんどん伸ばしてあげたいですね。また男性の多い職場ですが、仕事をするうえで女性だからと意識することはありません。社内においても得意先においても、

しっかりした提案や解決策を示せば、性別や年齢に関係なくフェアに評価してくれます。女性社員の集まりや、同業他社の女性技術者との交流もあり、新しいことにもチャレンジをしながら生き生きと働いています。

ON OFF

オフの日は何してですか？

体のメンテナンスと、リフレッシュを楽しんでいます

出張の多い仕事なので、まず大切なのは健康管理。ジムで運動をしたり、整体で体のメンテナンスをしています。最近は、マラソンや山登りなど、出張先の地域イベントに参加することもあります。



※Public Private Partnership 公民連携

Passion 06

Sales Member

地域課題を解決する「橋渡し役」、責任の大きさが成長につながります。

埼玉県の営業担当として、さまざまな土木案件を担当。

発注者である国や地方自治体と社内の技術部門をつなぎ、地域課題を解決へ。

PROFILE

内藤 百合子

2022年入社
事業推進部
お茶の水女子大学
文教育学部
グローバル文化学環 卒業



Challenge and Dream

大学で国際協力を学ぶ中で、国内外のインフラ整備に関わる建設コンサルタントに興味を持ちました。その中で見つけたのが、国内事業のほか、海外事業の中で途上国を中心に開発援助プロジェクトを行うエイト日本技術開発でした。就活時の選考中には、営業や新規事業の担当者で面談の機会を設けてもらい、仕事内容を丁寧に説明してくれました。文系で土木のことをまったく知らない学生も大切に扱ってくれることに、とても良い印象を持ち、入社しました。

入社一年目から、1人の営業パーソンとして裁量を与えられます。私の場合は、入社半年ごろから徐々に上司の同行なしでお客さまを訪問するように

なり、2年目からはお客様の相談に対して、提案から見積もり、入札に至るすべての工程を任せられるようになりました。責任も大きいです、丁寧に指導・確認してもらえるので安心です。「こういう部分はできている」、「ここはこうすると良い」など、営業から戻るたびに上司が具体的なフィードバックをくれます。一口に「営業」といってもマニュアルがあるわけではなく、交渉やコミュニケーションのやり方は一人ひとり異なります。いろいろな先輩社員の仕事ぶりを見ながら、自分なりの営業スタイルを確立しようと毎日が学びの日々です。

技術部門も同様に、手厚く指導してくれます。提案内容について細かく教

えてもらったり、現場に同行したりと、業務を通して各分野のプロから教えてもらえるのは本当に恵まれた環境だと思います。こうして担当したインフラが完成することで、人々の安全・安心な暮らしに貢献できることは大きなやりがいです。

営業の仕事を一言で表現すると「橋渡し」です。お客さまとエイト日本技術開発をつなぎ、プロジェクト内容に応じて社内の技術部門をつなぐことで地域の課題を解決する。大学時代に夢見ていた国際協力も営業の仕事も、課題解決の橋渡し役を担うという点では同じだと感じています。

ON OFF

オフの日は何してますか？

クラシックバレエや合唱でリフレッシュしています

子どもの頃に習っていたクラシックバレエを、最近になって再開しました。発表会でステージに立つ機会もあり、心から満喫しています。歌うのも好きで、地域の合唱団で活動しています。



07

Passion
Specialist

知恵を結集して“できない”を“できる”に。 夢あふれるチャレンジが待っています。

前例のない大規模プロジェクトを手がけてきた、橋梁設計のスペシャリスト。
経験を後進に伝えるとともに、一技術者として生涯現役を目指す。

誰も架けたことのない橋を架ける

10代の頃、地元の香川県では瀬戸大橋の話題で持ちきりで、実際に開通（1988年）すると地域が劇的に豊かになりました。このときの印象が鮮烈で、橋梁設計の仕事をしよと決意したのであります。

入社してからは、自分から手を挙げてさまざまなプロジェクトに参加してきました。初任地の神戸では阪神・淡路大震災（1995年）を経験し、従来の知見が通じない想定外の被害に衝撃を受けました。この経験は基準やマニュアルに過度に依存せず、あるべき姿を追求していこうと考えを改める機会になりました。

たとえば四国横断自動車道の吉野川サンライズ大橋（徳島県）は、前例にとらわれては成し遂げられなかったプロジェクトです。架橋地の吉野川河口には干潟が広がり、多種多様な魚や底生生物が生息し、渡り鳥も飛来します。全国シェア7～8割を占めるスジアオノリの漁場もあります。

豊かな自然環境に影響を与えずに橋を架けることは、不可能に思えるチャレンジでしたが、河川に入らず上空から施工する工法、排水を川に出さない床版一体型の排水溝など、本プロジェクトが初となる多くの技術を考案し、完成できました。

人の出会いは何ものにも代えがたい財産

嬉しいことに、吉野川サンライズ大橋はグリーンインフラという評価を受け、土木の世界でもっとも権威のある土木学会の「田中賞」と「デザイン賞」をダブル受賞しました。前例のない橋をカタチにできたのは、プロジェクトに携わった一人ひとりの技術者が自由にアイデアを出し合い、知恵を結集したからです。

年齢や肩書きは関係ありません。自分の子どもぐらいの年齢の若手技術者が、思わぬヒントをくれることもあります。“絶対にできない”を“こうすればできる”に変えられたのは、チームワークがあつてこそ。さまざまな技術者と出会い一丸となってプロジェクトを達成させたのは最高の喜びであり、何ものにも代えがたい財産です。

PROFILE

浦嶋 義文

橋梁事業部
副事業部長

信州大学工学部土木工学科卒業。1990年入社。河口部や海岸部など、難易度の高い橋梁設計プロジェクトに複数携わってきた。

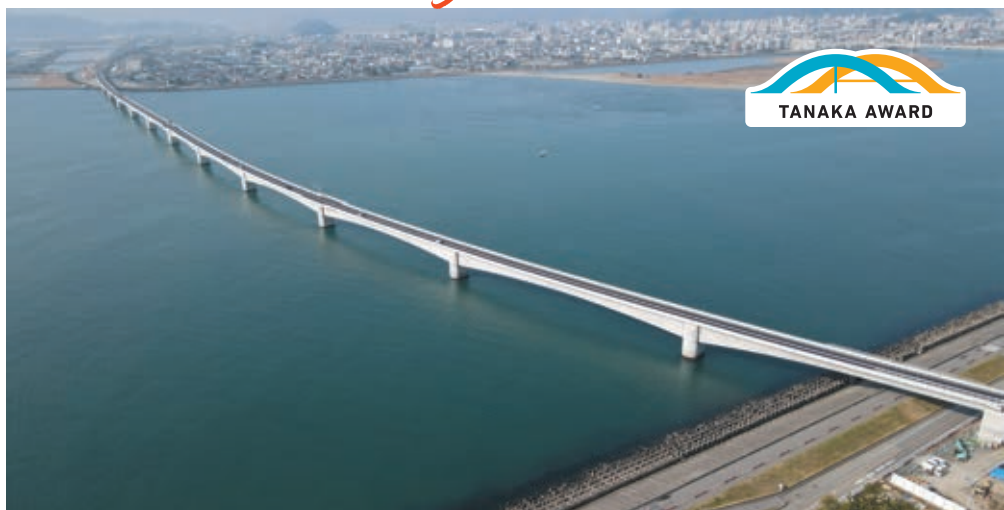


Bridge for Future



【写真上】補助桁併用張出架設
（河川上空から補助桁による資材搬入）

【写真右】2023年度土木学会田中賞
吉野川サンライズ大橋（橋長1696.5m）
資料提供：NEXCO西日本四国支社



Passion 08

Info Graphics

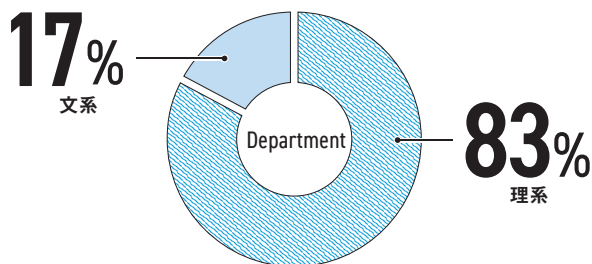
データから見る エイト日本技術開発のリアル

どんな人が、どんなふうに働いているのか？

最新のデータから当社のリアルな姿を紹介します。

Data 文系・理系比率

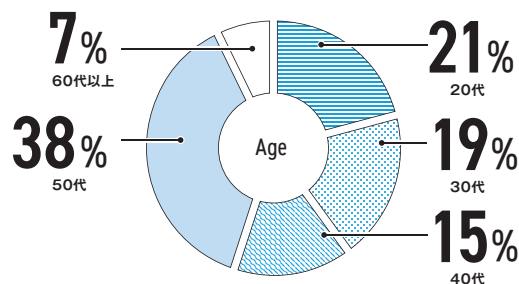
2024年12月末日時点/役員・年俸者を除く



土木技術を中心とした技術サービス業であるため、人員構成は技術系が8割以上を占め、理系出身社員が多い構成となっています。

Data 年代分布

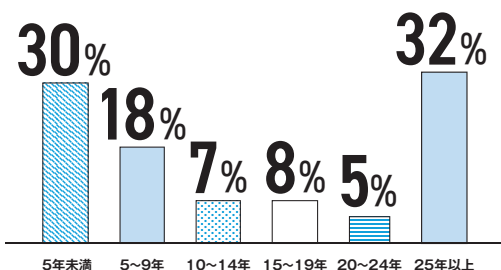
2024年12月末日時点/役員・年俸者を除く



平均年齢は約40歳です。近年は若手社員の入社が増加し、20代の比率が上がってきています。また、当社は高齢者雇用安定法改正の以前より65歳定年制であるため、60代社員の比率が高いのも特徴の一つです。

Data 勤務年数分布

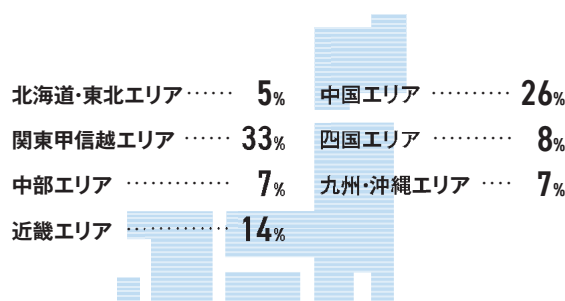
2024年12月末日時点/役員・年俸者を除く



近年の新卒採用者、中途採用者の増加により、勤続5年未満の割合が多いですが、入社3年までの社員の離職率は3%程度です。一方で、入社から20年以上勤続中の社員も多く、長く働ける環境が当社にはあります。平均勤続年数は約15年。

Data エリア別人員比率

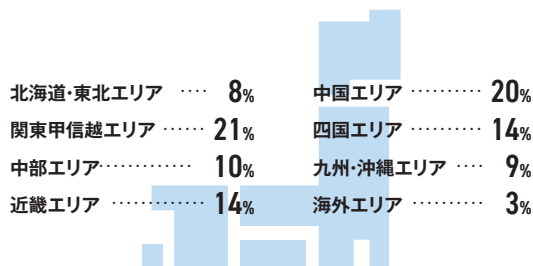
2024年12月末日時点/役員・年俸者を除く



46都道府県で展開(本店本社・8支社・17支店・12事務所・20営業所で構成され、国内56拠点・海外1拠点)し、全国各地の案件に対応しています。

Data エリア別売上比率

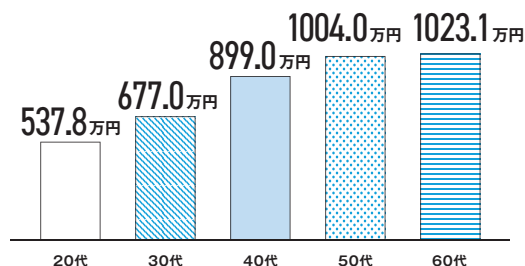
2024年5月期



全国バランスよく業務を実施し、総合力を発揮しています。技術職を配置する拠点は、北から仙台、東京、さいたま、名古屋、大阪、神戸、岡山、広島、鳥取、松江、浜田、山口、徳島、高知、松山、福岡の16拠点はです。

Data 平均年収

2024年12月末日時点/役員・年俸者を除く



基本給、賞与、各種手当(時間外手当含む)を合計した支給実績の平均です。当社は、法定の8時間より1時間短い1日の所定労働時間7時間を超過した勤務に対して、時間外の割増賃金を支給しています。

Company Profile

商号

株式会社エイト日本技術開発

代表者

代表取締役会長 小谷 裕司
代表取締役社長 金 声漢

本社、本店

本社 〒164-8601 東京都中野区中野2丁目24-11
住友不動産中野駅前ビル
TEL. 03-5341-5152(代) FAX. 03-5385-8500
本店 〒700-8617 岡山市北区津島京町3-1-21
TEL. 086-252-8917(代) FAX. 086-252-7509

設立

昭和30年3月1日(創業)
昭和32年5月
平成21年6月1日(統合再編)

資本金

20億5,688万円

人員構成 (2024年6月1日)

社員数 1058名
技術系 874名
事務系 184名

有資格者 (2024年6月1日)

技術士: 444名	地質調査技士: 81名
技術士(総合技術監理): 94名	土壤汚染調査技術管理者: 7名
RCCM: 209名	VEリーダー: 52名
博士: 28名	APECエンジニア: 2名
一級建築士: 15名	補償業務管理士: 126名
二級建築士: 11名	コンクリート診断士: 39名
測量士: 159名	土木鋼構造診断士: 9名
環境計量士(騒音・振動関係): 3名	道路橋点検士: 42名
環境計量士(濃度関係): 4名	河川維持管理技術者: 8名
一級土木施工管理技士: 224名	河川点検士: 31名
二級土木施工管理技士: 20名	土木学会認定(特別上級土木技術者): 3名
一級造園施工管理技士: 31名	土木学会認定(上級土木技術者): 12名

福利厚生・教育制度

■住宅・財産形成関連

借上げ住宅補助、独身寮、転勤費用補助、地域手当、財形貯蓄制度、社員積立貯蓄、社員持株会、退職金制度(DB・DC) 等

■健康・医療関連

社会保険完備、労災上積み保険、企業年金基金、各種保険団体取組、生活習慣病等支援 等

■育児・介護関連

育児休業・介護休業、短時間勤務制度、介護休暇・看護休暇、時間外労働の制限、育児・介護と仕事の両立に関する研修、社内コミュニティサイト 等

■慶弔・災害関連

慶弔・災害見舞金 等

■レクリエーション関連

共済会、宿泊施設等利用優遇、その他支援 等

■休暇関連

永年勤続表彰制度、リフレッシュ休暇制度、特別休暇、アニバーサリー休暇制度 等

■教育関連

公的資格取得支援、自己啓発支援、階層別研修、技術研修、その他研修、イブニングセミナー、EJアカデミー(企業内学校)、国内留学制度 等

■その他

作業服・携帯電話等必要備品の貸与、家族手当 等

登録事業

建設コンサルタント登録	建06第116号
地質業者登録	質04第367号
測量業者登録	第(16)-263号
一級建築士事務所登録	東京都知事 第55520号 岡山県知事 第1855号 大阪府知事 (イ)第25984号
補償コンサルタント登録	補06第687号
計量証明事業登録	音圧レベル/岡山県第7-11号 振動加速度レベル/岡山県第8-7号
土壌汚染対策法に基づく 指定調査機関登録	2003-8-2007

建設業許可 (般-5)第5545号・(特-5)第5545号

建設コンサルタント登録

河川、砂防及び海岸・海洋/港湾及び空港/道路/鉄道/上水道及び工業用水道/下水道/農業土木/森林土木/水産土木/廃棄物/造園/都市計画及び地方計画/地質/土質及び基礎/鋼構造及びコンクリート/トンネル/施工計画、施工設備及び積算/建設環境/電気電子

補償コンサルタント登録

土地調査/土地評価/物件/機械工作物/営業補償・特殊補償/事業損失/補償関連/総合補償

国際規格

ISO9001 認証登録
ISO14001 認証登録(東京支社 都市環境・資源・マネジメント部)
ISO55001 認証登録(アセットマネジメント戦略グループ)

その他

レジリエンス認証(国土強靱化貢献団体認証)
えるぼし(女性活躍推進法に基づく認定)3段階目
くるみん(次世代育成支援対策推進法に基づく認定)
環境省 30by30アライアンス登録
(保護地域の拡大を支援、エリア管理の支援)
国土交通省 流域治水オフィシャルサポーター認定

E・Jホールディングスグループ企業

E・Jホールディングス株式会社	日栄プランニング株式会社
日本インフラマネジメント株式会社	株式会社東京ソイルリサーチ (TOKYO SOIL RESEARCH CO.,LTD.)
株式会社近代設計	株式会社北海道近代設計
株式会社共立エンジニア	EJEC(Thailand) Co., Ltd.
共立公営株式会社	株式会社エンジョイファーム
都市開発設計株式会社	株式会社ストロベリーファーム
株式会社アークコンサルタント	株式会社那賀ウッド
株式会社アイ・デベロップ・コンサルタンツ	株式会社演算工房
株式会社二神建築事務所	Dynamic Engineering Consultants Inc.
株式会社ダイミツ	

価値ある環境を未来に



採用ページは下記URLにて
Access Here!
<https://www.ejec.ej-hds.co.jp/recruit/>

